

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ



Weekly Report

2016~2017 年度 第 51 期会長テーマ

『友情を深めよう！
仲間と感動するロータリー』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
TEL 0572-25-5100
FAX 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP http://tajiminishi.jimdo.com
会長 中島 竹壽
幹事 加藤 真左子



3月の花(桃)

第 2455 回例会 2017 年 3 月 23 日

3 月は水と衛生月間

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング それでこそロータリー
四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告



ポールハリスフェローピン贈呈

卓話者紹介 嶋内龍男君

卓 話 公益社団法人岐阜県食品衛生協会
専務理事 後藤判友様
「食と健康」

点 鐘

卓話者のご紹介

後藤判友様 (ごとう はんゆう)

生年月日 昭和 30 年 2 月 26 日 (62 才)

勤務先 公益社団法人岐阜県食品衛生協会

役 職 専務理事

経 歴

国立鳥取大学農学部獣医学科卒

昭和 55 年 岐阜県奉職

大垣 関 伊奈波 郡上 可茂保健所勤務

県庁生活衛生課食品乳肉係長

中農振興局環境課長 本巣・山県センター所長

岐阜県食肉衛生検査所長

平成 27 年 3 月 岐阜県退職

平成 27 年 4 月岐阜県食品衛生協会就職

会員増強セミナー

4 月 8 日 (土) 14:00~セラトピア土岐 大会議室

中島竹壽	加藤真左子	齋藤明	黒川公男
伊藤正雄	森田宏治	森田誠	加藤三紀

第 52 期クラブアッセンブリー

3 月 30 日 (木) 18:00~「松正」

出席者：次期執行部 理事 委員長

先週の記録 3市5RC親睦合同例会

● 出席報告

会員数 38名 免除者 5名 出席義務者 33名

出席者	欠席者	出席率
19名	16名	54.28%

メーカーシップカード提出者

松本昇 加藤健治 (台湾苗栗 RC)
 安藤宏 森田宏治 (多治見リバーサイド RC)



佐藤八郎
次期ガバナー補佐挨拶

アトラクション
伊賀忍者くノ一



多治見軟式野球連盟少年部・学童部開会式

3月18日(土) 8時30分 多治見市市営球場



優勝旗返還

選手入場

苗栗扶輪社表敬訪問 3月17日(金)~20日(月)

参加者 中島竹壽 齋藤明 松本昇 佐藤正
 各務和宏 関谷泰久 加藤健治



地区研修・協議会について

4月16日(日) 受付・昼食 10時30分より

会場 : 伊賀市文化会館 (主会場)
 ヒルホテル サンピア伊賀 (副会場)

加藤真左子	山田正史	伊藤正雄	佐藤正
服部賢治	大澤大二	古田徳夫	黒川公男
加藤健治	森田宏治	森田誠	加藤三紀

ロータリーの変化について

次期財団資金管理小委員会 山田正史

私共が入会した当時は、厳しい会員資格として一人一業種でありました。ポールハリスの思案として

1. 職業が違えば同業間の嫉妬心が起きることがない
2. 開放的になって親睦がうまくゆくのではないか
3. 会員同士の助け合いが促進される
4. 自分の職業に誇りを持つ事が出来る
5. 他の職業に接する事で、業績や問題点についての認識が持てる

があったにも関わらず、職業分類の発行中止でクラブの自由となった。ロータリーの基本概念の一つである会員資格と職業分類の変化そして職業分類として、仕事をした事の無い人、または仕事を中断している人を正会員と認める(主婦、主夫も良い)まで言い出せば、ロータリーの基本である職業奉仕の理念が無くなってしまふのでは無いかと危惧します。それから 例会のあり方等多くの面で変化があります。約五年位になりますが、日本ロータリーEクラブが設立されて、インターネットでの例会、出席確認等結構利用しているメンバーも見えるようですがロータリーの三原則である、例会に出席、ロータリーの友を読む、会費を払うとありますが、少し考えさせられます。ただ規定審議会でEクラブとトレードショナルクラブの垣根が無くなり定款上は同じクラブとなりました。日本に11クラブあるようですが、今後このようになるのでしょうかね。今回の規定審議会は一つの大きな変化はクラブの自主性の尊重が多く採択された部分は評価出来ると思います。ただCLP等やはり変化のすべての部分は、世界的な会員の減少が全ての要因であると思います。やはり会員が減少することは当然会費の減少に繋がり運営が難しくなる部分がでてくるから当然 RI もそれに合わせた基本概念も変化させなければならぬのは出てくると思います。しかし今までのロータリーの最も大切な職業奉仕の概念までも会員減少だからと言って変えてしまっても良いものか疑問が残ります。これにはやはり会員増強となりますが、とにかく入会をばかり考えるとロータリーの質の低下に繋がってくるが、このバランスがとても難しくなると思います。日本の人口の減少に歯止めがかからないのと同様会員の減少も続くと思いますが今後更なるロータリーの真髓にかかわる部分についての変化となって来ることもあるかも・・・しかし、我々のクラブでは、ほとんど変化もなく何時ものような運営及び活動をしております。